

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第4項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成27年8月24日

【四半期会計期間】 第47期第1四半期（自平成27年4月1日至平成27年6月30日）

【会社名】 株式会社両毛システムズ

【英訳名】 RYOMO SYSTEMS CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 秋山力

【本店の所在の場所】 群馬県桐生市広沢町三丁目4025番地

【電話番号】 0277(53)3131(代表)

【事務連絡者氏名】 経理部長 上原修二

【最寄りの連絡場所】 群馬県桐生市広沢町三丁目4025番地

【電話番号】 0277(53)3131(代表)

【事務連絡者氏名】 経理部長 上原修二

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成27年8月5日に提出いたしました第47期第1四半期（自平成27年4月1日至平成27年6月30日）四半期報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものがあります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第2 事業の状況

3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

第4 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

注記事項

(セグメント情報等)

セグメント情報

3 【訂正箇所】

訂正箇所は___を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第2 【事業の状況】

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

(訂正前)

<省略>

このような状況の中、当社及び連結子会社（以下、当社グループ）では、公共分野及び民間分野とも引き続き受注拡大ならびに収益構造の改善に取り組んでまいりました。

その結果、売上高は2,519,282千円（前年同期比20.4%増）、営業利益は 89,379千円（前年同期は 114,045千円）、経常利益は 75,860千円（前年同期は 99,862千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は 57,424千円（前年同期は 69,302千円）となりました。

<省略>

(訂正後)

<省略>

このような状況の中、当社及び連結子会社（以下、当社グループ）では、公共分野及び民間分野とも引き続き受注拡大ならびに収益構造の改善に取り組んでまいりました。

その結果、売上高は2,519,282千円（前年同期比20.4%増）、営業利益は 89,379千円（前年同期は 114,045千円）、経常利益は 75,860千円（前年同期は 99,682千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は 57,424千円（前年同期は 69,302千円）となりました。

<省略>

第4 【経理の状況】

1 【四半期連結財務諸表】

【注記事項】

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(訂正前)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	公共事業	社会・産業事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,227,379	1,241,902	2,519,282		2,519,282
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	1,227,379	1,241,902	2,519,282		2,519,282
セグメント利益	61,902	138,102	200,005	289,384	89,379

(注)1.セグメント利益の調整額 289,384千円には、各報告セグメントに配分していない製造補助部費 42,790千円及び全社費用 246,594千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失()と調整を行っております。

(訂正後)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	公共事業	社会・産業事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,277,379	1,241,902	2,519,282		2,519,282
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	1,277,379	1,241,902	2,519,282		2,519,282
セグメント利益	61,902	138,102	200,005	289,384	89,379

(注)1.セグメント利益の調整額 289,384千円には、各報告セグメントに配分していない製造補助部門費 42,790千円及び全社費用 246,594千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失()と調整を行っております。